

【位相差／偏光顕微鏡法及び位相差／蛍光顕微鏡法と電子顕微鏡法との比較検討】

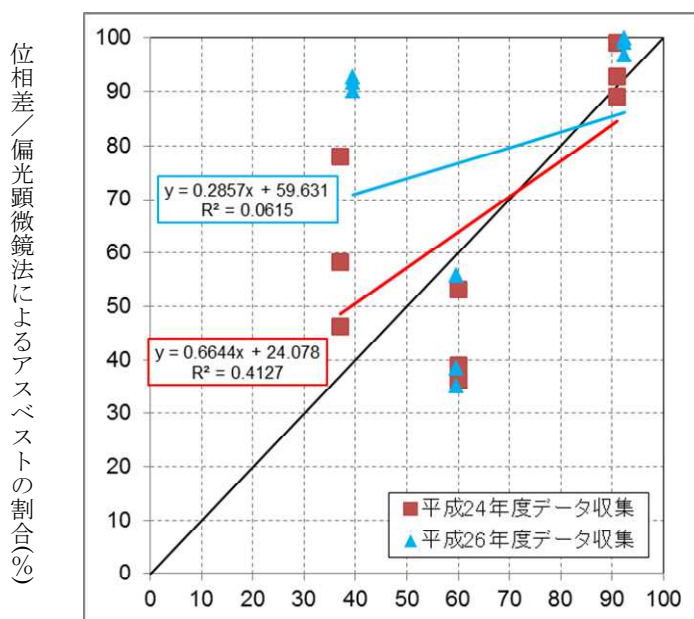


図 1 - 1 位相差／偏光顕微鏡法と電子顕微鏡法のアスベスト割合の比較結果

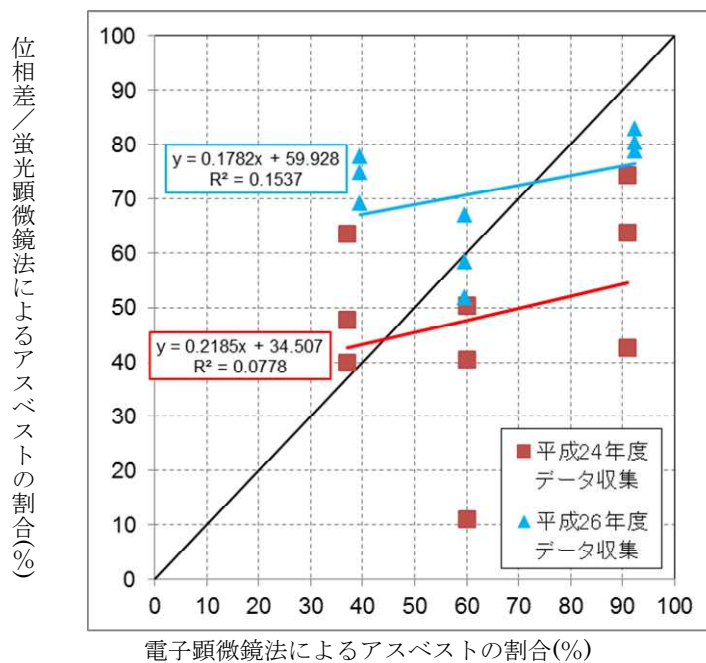


図 1 - 2 位相差／蛍光顕微鏡法と電子顕微鏡法のアスベスト割合の比較結果

【平成 26 年度「位相差／偏光顕微鏡法及び位相差／蛍光顕微鏡法による分析データの収集結果」より】

平成26年度に行った「位相差／偏光顕微鏡法及び位相差／蛍光顕微鏡法による分析データの収集結果」と同年「第3回検討委員会」にてご議論頂いた内容を踏まえ、昨年度までの計数視野数が30視野と少なかったため、総繊維数濃度及びアスベスト割合のデータにバラツキが多くなった可能性を鑑み、今年度は、アスベスト割合の低い試料（アスベスト割合が50%以下のもの）を中心に比較試験を行い、かつ実際にアスベスト大気濃度調査で行っている測定方法と同様に、計数視野数を100視野として計数を行い、データの検証を行なうものとする。

その上で、平成24年度及び平成26年度の測定結果と今年度行う比較試験の結果から、位相差／偏光顕微鏡法及び、位相差／蛍光顕微鏡法の有意性を確認し、参考法ではなく、アスベスト測定方法の一つとして今後検討する資料とすることを目的とする。

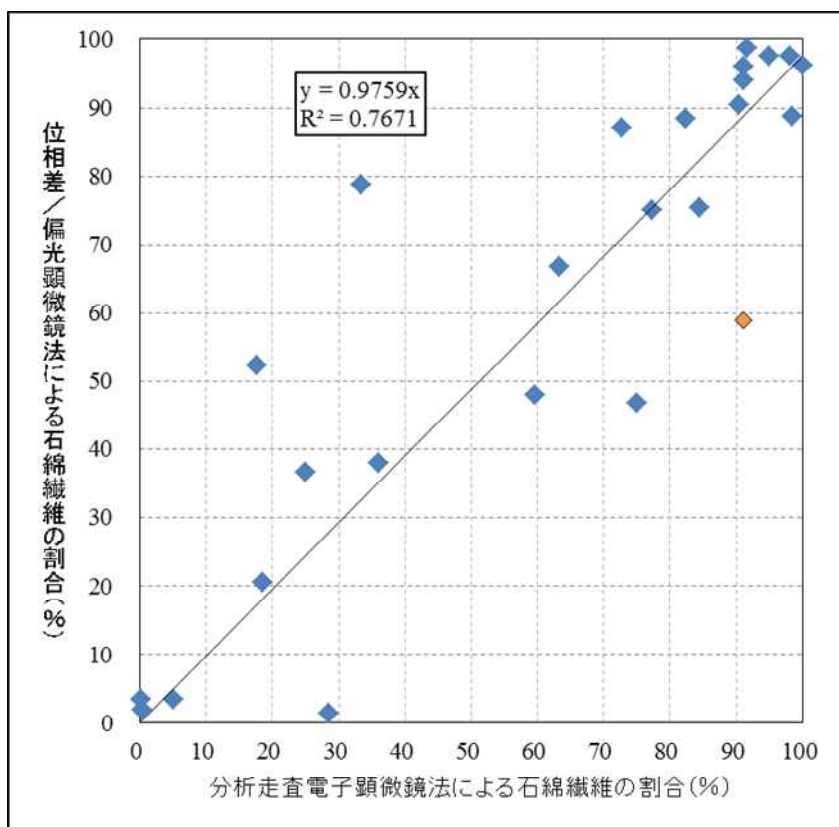


図2-1 東日本大震災の被災地で実施した位相差／偏光顕微鏡法と分析走査電子顕微鏡法の調査結果（石綿割合）の比較

【平成26年度アスベスト大気濃度調査検討会 第3回検討会資料及び  
平成27年度東日本大震災の被災地におけるアスベスト対策支援等業務より】